

# はぼろ

議会だより

# ピツシリ

第124号

2023



1.26



定例会・町長の所信	・・・ 2
5名の議員が町政をたず（一般質問）	・・・ 3～7
文教厚生常任委員会行政視察報告	・・・ 8
議員定員数決まる（議会・行政改革）	・・・ 9
総務産業常任委員会・コロナ対策報告	・・・ 10

お餅つき（認定こども園まき・12月20日撮影）

●発行／北海道羽幌町議会 ●編集／広報広聴常任委員会



# 令和4年 第10回定例会

本議会は令和4年12月8日から15日までの8日間の会期で開かれた。今回は報告1件、一般議案11件（条例改正5件、補正予算案6件）、同意2件、発議2件が審議され、提案どおり可決された。

一般質問は5名（7件）であった。

## 駒井町長 3期目に向けて所信表明

### 基幹産業の振興・発展、安心な暮らし

### 生活環境の充実、行財政の健全化維持が最も重要

●「羽幌町職員の高齢者部分休業に関する条例」は、定年引上げに伴い、高齢期の職員における加齢による諸事業への対応や地域ボランティア活動への参加など多様な働き方のニーズへ対応するため、地方公務員法第26条の3の規

●「地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例」は、職員の定年等に関する条例等の一部を改正するほか、職員の再任用に関する条例を廃止しようとするため。  
※10ページに関連記事



所信表明をする駒井町長

定に基づき、羽幌町職員の高齢者部分休業に関する条例を制定しようとするため。  
※高齢者として条例で定める年齢は60歳

●「羽幌町再生可能エネルギー発電設備の設置及び運用の基準に関する条例の一部を改正する条例」は、関係法令の改正に伴い規定を整備するため。



●「羽幌町国民健康保険条例の一部を改正する条例」は、北海道国民健康保険運営方針に資産割の廃止が明記されたことに伴い、税率改定する必要があることから、改正しようとするもの。  
※9ページに関連記事

【一般会計補正予算】  
《主な補正内容》  
・電算システム改修委託料 100万円  
・離島航路欠損補助金 △1222万円  
※国庫補助金増によるため



【羽幌町副町長の選任】  
・羽幌町副町長であった今村裕之氏の任期満了に伴い、鈴木典生氏の選任を同意。

【羽幌町監査委員の選任】  
・現監査委員の鈴木典生氏が令和4年12月15日付けをもって退職するため、熊木良美氏の選任を同意。

・スマート農業導入 支援事業 (地方創生臨時交付金事業分) 100万円  
・焼尻めん羊牧場 管理運営事業 179万円  
・雇用促進助成事業 24万円  
・除排雪事業(修繕料) 473万円

【国民健康保険事業特別会計補正予算】  
・保険活動事業 11万円  
※インフルエンザワクチン購入費

阿部 和也 議員



問

# 令和5年度の重点事業は



一般質問  
音声配信

答

## 財政厳しく継続事業に重点置く

**問** 令和5年度予算編成に向けて、どのような指示を出したのか。

**答** 厳しい財政状況が見込まれることから、緊急度や重要度を十分精査したうえでの予算要求とするよう指示をした。

**問** 継続事業以外の町長の選挙公約は新年度予算に盛り込むのか。

**答** 財源の見通しが立つ場合と財源の確保等を十分考慮したうえで、対応可能と判断した事業については、予算計上する。

**問** ここ数年、町民サービスに直結する新規事業が少なく感じている。創意工夫ある事業の推進について町長の考えは。

**答** まだ各課の話を聞いておらず、現時点で申し上げられるものはない。

**問** 令和5年度の重点事業は何か。

**答** 新一般廃棄物処理施設建設事業に係る負担金が大きなウエイトを占めることから、農業農村整備事業や医師確保対策事業など継続事業に重点を置かざるを得ない。



新年度予算に選挙公約の反映は？

**問** 今後の財政運営は

**答** 自主財源となる町税の収納率向上や税外収入ふるさと納税の確保は。

**問** 町税や使用料等の収納率向上については、財源確保の面だけではなく、公平性の観点からも、悪質な滞納者に対しては預貯金や給与の差し押さえ等の滞納処分徹底や強制執行も視野に、これまでに以上に収納率向上を図る。ふるさと納税については、新たな返礼品やPR方法等の検討により、安定した寄附額の確保とさらなる増額を目指す。

**問** 職員数の適正化等について、今後の具体的な取り組みと考える。

**答** 中長期的な視点で、退職者数を把握しつつ、年齢別の職員数に偏りが生じないよう、一定程度平準化しながら、計画的に職員の新規採用を実施していく。

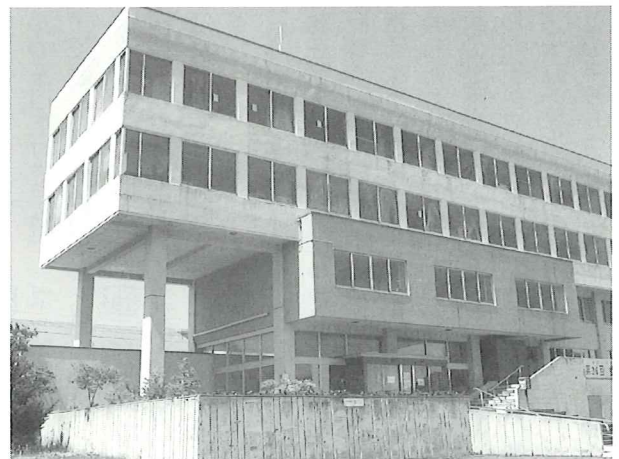
**問** 財政規模が縮小していく中で、今後は人件費の割合が増えていく。その一方で業務の複雑化や多種多様な住民ニーズへ

の対応もある。デジタル化や事務手続きのオンライン化などは人件費削減に向けて必要だと思うが、現時点での考えは。

**答** ITの活用は先の話になるが、国の方でDX推進計画が進められており、次年度以降一部の手続きをマイナポータルから申請できるように、現在整備をしている。

**問** 健全な財政運営で、最も重視することは。

**答** 現状が身の丈にあった行政運営となっているのか。また各種事業の



今後の財政運営はどうなるのか

実施にあたり、後世に過度の負担を強いることにならないようにしたい。

**問** 今後は事業の縮小廃止だけではなく、思い切った行政改革をしなければならず、場合によっては身を切ることも必要となる。身の丈にあった財政運営をするには町民の理解も必要になると思うが、町長の考えは。

**答** 今後何かあれば、早急に議会にも周知し、相談や意見聴取もしていきたいと考えているので、ご理解いただきたい。



村田 定人 議員



問

# 役場庁舎建替えの道筋は

答

## 基本構想の策定に向けて進める



一般質問  
音声配信

### ふるさと納税

**問** ふるさと納税は町にとつて貴重な自主財源である。まだまだ寄附額を増やす努力をすべき。現地で寄附をしてもらいその場で返礼品を受け取る新たな方法が広がっている。道の駅などにふるさと納税の自販機を設置している自治体もある。返礼品も品物だけでなく、体験型の物やサービスの提供等、町に来ていただいた方にリピーターになつてもらえるような、観光に寄与する取り組みも考えては。

### ゼロカーボンシティ

**問** 国や北海道が進めているゼロカーボンシティを宣言して、自主財源をなるべく少なく抑えて事業展開し、雇用の場の確保により人口減少を食い止める、活気あるまちを目指すのもひとつの方法と考えるが。



建て替える焼尻小中学校

### 役場庁舎の道筋

**問** ハード事業においてはさまざま問題があり、天売複合化施設、焼尻小中学校では令和6年度着工できるように取り進めていると思うが、どのような形で進めるのか。また、令和5年度の予算に何が反映されるのか。

**答** 天売複合化施設については、工事の先送りしたことにより、未実施だった建築確認申請等に係る費用を令和5年度当初予算に計上する。焼尻小中学校については、建替えの方針から、今後の整備と国の交付金の活用について協議を始めている。本工事に係る設計業務を早期に行う必要があり、今年度予算に地質調査を含む設計費を計上し、令和5年度の債務負担行為として行う予定。

### 役場庁舎の道筋

**問** 役場庁舎の道筋について、今後4年間の時間の中で、複合化、場所、規模、事業費、財源、着工年度等、構想やスケジュールについては。

**答** 耐震化の整備手法や、建替えする場合の場所等の基本的な考え方を整理し、基本構想の策定に向けて進めていく。数年は大型施設の建替え等が続く事を踏まえ、令和8年度以降の公共施設マネジメント計画を見直す中で検討していきたい。



昭和45年建設の羽幌町役場

金木 直文 議員



# 問 インフルワクチン高校生へも

## 答 医療費無償化の道筋を見据えて

一般質問  
音声配信



**新型コロナウイルスとインフル同時流行への備え**  
**問**この冬は新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行が懸念されていることから、これまで以上にワクチン接種や感染予防の呼びかけ、発熱など諸症状がみられたときの行動など、町民への周知、広報が必要だ。同時流行に備えた対応は。  
**答**過去2年間ほとんどインフルエンザの流行はなく、免疫が低下している状況のため流行が懸念されている。町としては、高齢者を対象としてインフルエンザの予防接種を実施しており、昨年はワクチンの供給が少なく、希望者全員には接種できない状況であったが、今年は希望者全員に接種することができた。過去2年間この時期に言われているインフルエンザの感染対策は、コロナと同様とのことであるので、ワクチン接種以外にも基本的な感染対策の実施について、あらためて想起していただく必要があると



新型コロナウイルス感染予防ワクチン接種会場

考えていることから、これらの広報についても再度行っていきたい。  
**医療機関への受診は**  
**問**発熱があったり体調を崩した場合、医療機関側でどう対応しているのか、町で把握しているか。  
**答**具体的にはわからないが、健康センターにも問い合わせがきているところであり、ていねいに説明して対応していただいている。

**基本的な感染対策を**  
**問**道ホームページの陽性者登録センターの説明を読むと、発熱症状がある64歳以下の人は抗原定性検査キットをウェブで申し込むか、自主検査を行うこととなっている。いずれにしても、検査キットを手に入れることから始めなければならず、これまでと違う準備が必要だ。町としては、どういった内容を広報していくのか。  
**答**予防行動や対策はこれまでと同じであり、基本的な感染対策を想起してほしいと促していきたい。

**インフルの予防接種**  
**問**インフルエンザの発症防止と重症化予防を図るため、高齢者や子どもへの任意の予防ワクチン接種に対して助成を行っている。しかし、管内では高齢者でも無料にしたり、子どもでも高校生までを無料としている自治体もある。さらに、助成拡大をしてみたい。  
**答**高校生の年齢層への助成を実施する場合、ワクチン単価や接種を行う病院でも違いがあるが、50万円〜60万円と試算し



インフルエンザ感染予防ワクチン接種会場

ており、医療費の無償化の議論も踏まえた中で検討していきたい。  
**問**高齢者の自己負担分の無料化の展望は。  
**答**ワクチンの供給が少なく、希望者全員に接種できなかつたり、無料化できずに希望者が増えることも予想され、無料化に踏み切れない状況だ。  
**問**高校生までの無料化検討、結論の見通しは。  
**答**高校生への医療費の無料化への道筋が見えたところで方向性を出していきたい。

小寺 光一 議員



問

# 質問の答弁を拒否するのか

答

## 学校側に回答して再度議会側へ



一般質問  
音声配信



羽幌町PRプロジェクト発表会 (10/21)

中学生に回答が先、一般質問で答弁拒否

問 羽幌中学校の2年生が「羽幌町に人を呼び込めー羽幌町PRプロジェクト」をテーマに、町内外への取材や調査を行い、地域活性化に向けたアイデアを発表した。町や町長に向けて「町のために1つでも実現させて欲しい」と強く要望していた。

町として次年度にすぐに取り組める事項は、また中長期間で行う必要があるものは何か。具体的な取り組み方や施策への考えは。生徒達には、町として回答をすべきでは。

答 提案には、すでに実施している事業や今後実施できそうな事業、また、実施は難しいと感じた事業もあったが、まず生徒に対して回答し学校側と協議の上、調整していく。

問 どのような形で回答しようと思っているのか。

答 町自身は授業の一環でやってこられた中で、未成年の方なので、町として評価するのは大変問題があると考えている。

問 何が問題なのか。

答 表だって評価しない。

問 回答の場を作るのか。

答 私自身が町長として8グループに対して優秀をつける評価はしない。

問 直接手渡した際も評価し、順位をつけてほしいと言っていないか。

答 誰も言っていない。

問 できそうな事業または難しいと考えた事業があるか、具体的な案として答弁がされていないか。

答 まずは生徒・学校側に提示したい。

問 質問に答えないので答弁を拒否するのか。

答 ここで答弁すると学校への回答よりも議会への答弁が先になるので、学校側に回答してから再度、議会側にもしたい。

意見 行政側・町長の答弁拒否であり、議会での私の質問する権利の侵害であると思う。一般的な議会ではありえない。



生徒の代表が活性化案を直接町長へ手渡す (11/2)

継続事業のみで新たな事業や考えはない

問 具体的な政策は継続事業のみで新規事業は行わないのか。

答 現状はそういう予定で、新規は持っていない。

問 今後4年間に羽幌町に対しての施策は。継続事業しかないのか。

答 新年度は今後ヒアリング、査定等が入り、各課から新しい事業も上がらないとは限らない。

問 課からではなく、町長自身で「これをやりたい」という新しい施策は。

問 現時点では持ち合わせていない。今後出てくれば相談を申し上げたい。

議会インターネット

中継の協議に期待

問 前回は「協議します」と答弁があったが、「協議の必要がない」と勝手に判断して協議を再開することができなかった。議会に対して問題の解決の方法も含め説明の機会を作るべきと思うか。

答 議会との集まりは、町側からお願いして日程を作りたい。

# 道外行政視察報告

(文教厚生常任委員会)

本委員会が所管する教育・福祉に関する事項、本町と同

じく離島を抱える自治体、今年新庁舎が建替えられた2つの自治体であったことから視察先を決定した。羽幌町にあるさまざまな課題解決のヒントを得るために11月14日から18日までの日程で、沖縄県石垣市、竹富町の両行政機関と民間事業者の施設を訪ね、視察・調査を行った。

## 人づくりのための公営塾と勇気づけ教育の推進

「石垣市」

石垣市は、沖縄本島から南西に430kmに位置し、沖縄県では沖縄本島と西表島に次ぐ3番目に大きな石垣島と、尖閣諸島とからなる。人口は4万9536人(11月現在)、面積は229・15km<sup>2</sup>。第三次産業が75・9%で最も多い産業区分である。

公営塾は、平成30年開校。



石垣市議会の議場

大学受験を目的とせず、社会に出たとき何処でも通用する人材(自立型人材)の育成を目的とする。講師には元教師、IT起業家、舞台演出家などの講師陣。プロジェクト型学習として、塾生(高校生)が自ら企画・実施した「漂着ゴミ問題解決を目指す!島そうじプロジェクト」では掃除だけにとどまらず、プラゴミの製品化を目指し、クラウドファンディングで活動資金を集める等の事例もあった。民間の学習塾と一線を画した「学びと実践のキャンパス」。

## 複合化で利便性向上 竹富町役場新石垣庁舎

「竹富町」

竹富町は、八重山諸島に属する竹富島、小浜島、西表島などの9つの有人島と7つの無人島からなる町。人口4301人(11月現在)。役場庁舎は石垣市(島)にある。

新石垣本庁舎は、今年5月に海上交通の利便性などの観点から石垣市(島)に建替えられた。事業費は約33億円。

庁舎機能と併せて、商工会、観光協会、ファミリーサポートセンター、社会福祉協議会、売店等が入居する複合施設。また、簡易宿泊施設も整備し、通院者・妊産婦とその家族、児童生徒や町内団体が、派遣等で市内宿泊時に利用できる。



竹富町役場のエントランス

## 最南端の私立小学校 各学年で行う平和教育

「海星小学校」

海星小学校では、各学年に合った平和教育を実践しており、特に太平洋戦争末期、八重山で起こった「戦争マラリア」等を学習することで平和への関心を深めている。

訪問時は全校児童の前で羽幌町のPRと北海道の質問タイムも行われた。



全校児童の前で紹介される

## 農業の付加価値化 有機パイナップルの挑戦

「やえやまファーム」

土を耕すのに数年、そこから株を仕込んでから収穫まで2年の歳月がかかる。この間、農業を使わないことから苦労も多い。日本で唯一の有機JIS認定パイナップル農場となった。やえやまファームは循環型の6次産業に取り組んでおり、「地球に優しい農業」に今もチャレンジを続けている。



有機パイナップル農場

## コミュニティスペースを 活用した新たな取り組み

「チャレンジ石垣」

人と島と、地域につながる日本最南端のイベント&コワーキングスペース。企業のサ

テライトオフィスの利用や、まちコイン「まーる」の運営、公営塾の学び舎としても使われている。地域とつながる企画・運営も行っている。



# 文教厚生常任委員会

## 資産割を廃止へ

(11月21日開催)

### ◆国保税資産割の廃止

国民健康保険制度を持続可能な制度として運営するため、令和12年度までに全道での統一保険料を目指すと言われていた。そのため、5年度から8年度まで段階的に資産割を廃止する。

#### 《主な質疑》

【質問】資産割の廃止に伴い、他の所得、均等、平等の割合を調整する根拠は。

【回答】8年度に必要な額を集められるように算出した。北海道が目安として提示している標準保険料率に沿ったもの。

【質問】改定で保険料が増減する世帯はどうなるのか。

【回答】資産割がかかっている対象世帯は471世帯あり、概ね低所得層から中所得層では減額、中から高所得層で増額となる傾向がある。

【質問】保険料がどうなるのか、個別相談の対応は。

【回答】普段から随時相談を受けている。

## 6年度から着工

(12月14日開催)

### ◆焼尻小中学校の整備

今年度、耐力度調査を実施した結果、校舎・体育館のほぼ全棟で構造上危険な状態であると判明し、新校舎への建て替えを決めた。令和5年度に設計、6、7年度で着工する。

#### 《主な質疑》

【質問】建て替え場所の選定は、いつまでと考えているか。

【回答】プロポーザルを実施する2月ころまでに決めたい。

【質問】天売、焼尻での大型工事の同時着工は可能なのか。

【回答】焼尻小中学校は早い時期から準備を開始したく、事業者を設計施工、一括で選考したいと考えている。



焼尻小中学校

# 議会・行政改革特別委員会

## 議員定数このまま

(12月20日開催)

昨年11月から協議してきた次期の議員定数について、現在の定数を維持していく方向でまとまった。今年8月には町民へのアンケート調査も実施しながらの検討を行ってきた。(調査結果は前号に掲載)

会議では現状維持と定数減とに分かれたが、現状維持が多数となった。

議員の意見

《現状維持》

【金木】(委員長)アンケート結果を見る限り、議員数が多いと考える人が多数とはならなかった。全道の人口5000人台の町での議員数も11人としているのが平均的であり、現在6000人台の羽幌町で減とするのはまだ早い。

【磯野】現在の羽幌町の人口、今回のアンケートの結果、過去の選挙結果からみても定数を減らす客観的な理由はないと考える。議会には各団体や各層の人たちから選ばれることで、多様な意見が出されるべきであり、今は定数を減らすよりもまずは、成り手不足の問題に取り組むべきだ。

【平山】定数を考えるに当たって何を根拠にすべきか見るものがなかった。アンケート結果では半数がこのままというものであった。次期の4年間でまた検討していくべきだ。

【船本】アンケート結果から現状維持でよい。選挙では高得票でなくても優秀な人もおり、定数の間口は広げておいた方がよい。

【逢坂】(副委員長)アンケート結果を見れば「現状でよい」と「少ない」で53%。管内の町で減らすと決めたところは羽幌町よりも小規模自治体であり、現在の11人は全道的にも決して多いわけではない。

【舟見】定数減を決めた管内の町とは人口自体が違う。アンケート結果も参考に考え、現状維持である。

《定数減》

【阿部】1人減に。人口が減ってきており、減員した分の予算を町民への施策・サービス

で返していくことができる。議会に対して厳しい声も聞かえてきており、定数を減らすことで議会改革の姿勢を示すべきである。

【工藤】他町で減らす動きも出ている。町民の思いや定数11人の期間もかなり経過している中で、人口減少が続いている中では1人減が妥当。減ったとしても他の議員でカバーしながら、町民の声を吸い上げて活動できるだろう。

【小寺】町民の声を聞いて委員会活動や定例会の発言に生かしているので、定数を減らしたからといって大幅に変わるものではない。アンケート結果の記述部分では議会に対しての不信意見もあり、半数はさほど気にしていないとしても、4割の人は減らすとしているのだから理にかなっている。

【村田】管内の2町が減としたことを考えると、羽幌町も人口が減少しており、1人減としてよい。

【森】アンケート結果の53%は誤差の範囲程度で、周りから聞かれるのは定数が多いという声だ。議員は選挙を経て住民の負託を受けるのが必須。

【阿部】1人減に。人口が減ってきており、減員した分の予算を町民への施策・サービス

# 総務産業常任委員会

## 企業振興を支援

(11月25日開催)

### ◆商工業の制度活用状況

【雇用促進助成制度】

\* 年度別助成金交付額  
 令和2年度 576万円  
 令和3年度 552万円

### 【企業振興促進助成制度】

\* 離島観光振興等へ補助  
 令和3年度 3事業者活用  
 補助決定額 344万円  
 令和4年度 1事業者活用  
 補助決定額 59万円

### \*新規創業者支援事業

令和3年度 1事業者活用  
 補助決定額 2万円  
 令和4年度 2事業者活用  
 補助決定額 13万円

### 【6次産業化促進事業】

\* 加工業設備投資に補助  
 令和3年度 1事業者活用  
 補助決定額 268万円  
 令和4年度 11月現在なし

### 【中小企業者持続化支援事業】

\* 新規設備等へ補助

令和2年度 1事業者活用  
 補助決定額 27万円  
 令和3年度 2事業者活用  
 補助決定額 60万円



天売ウニまつり (令和元年)

### 【外国人技能実習生受入支援】

\* 1事業者3名に交付  
 令和3年度 1事業者3名  
 補助決定額 90万円  
 令和4年度1事業者3名予定

### 《主な質疑》

【質問】新規創業者支援事業の家賃補助期限は何年か。

【回答】事業開始から2年(24カ月)としている。

【質問】空き店舗活用の助成実績がないが、制度内容の見直しが必要でないか。

【回答】新規創業者も活用できればとも考えているので、内容を検討していく。

## 羽幌町の魅力発信

### ◆観光事業の現況と課題

【本年度の観光振興事業実績】

- ① はぼろ甘エビまつりスタンプラリー「町内一円」
- ② 謎解き・宝探し「宝島2022」
- ③ 天売ウニフェア「コロナ拡大で打ち上げ花火のみ実施」
- ④ 焼尻めん羊フェア「焼尻島内の飲食店等でめん羊肉の提供」
- ⑤ ビーチバレーボール大会
- ⑥ はぼろ花火大会
- ⑦ 合宿誘致事業「スポーツ、文化等の合宿を受入れ、交流人口拡大を目的に実施。2団体延68人」

### 《主な質疑》

【質問】次年度以降の甘えび祭りをどのように実施するか。

【回答】漁獲高の減が心配だが、「はぼろ甘えび」のイメージが定着しているので、甘えび祭りとして実施したいが、内容等を今後検討する。

【質問】いきいき交流センター温泉施設の大規模改修を次年度以降に検討としているが、どのように進めるのか。

【回答】温泉施設を改修してサンセットプラザの魅力向上を図りたい。専門家の意見等を参考に将来の誘客に貢献できる改修方法を検討していく。



はぼろ温泉サンセットプラザ

## 職員の定年延長へ

### ◆地方公務員法改正に伴う職員の定年延長

令和5年度から地方公務員の定年年齢の段階的な引き上げや、管理職として勤務する上限年齢を定める役職定年制度等が導入される。

複雑高度化する行政課題への確に対応し、能力と意欲のある高齢期の職員を最大限活用しつつ、次世代に継承する。60歳から65歳まで2年度に1歳ずつ段階的に引き上げる。

## 新型コロナ対策 特別委員会

(10月11日開催)

地方創生臨時交付金申請予定事業の説明を受けた。今まで支援がなかった貨物自動車運送事業者、土木建設事業者への支援事業が盛り込まれた。

## 臨時会

(10月14日開催)

### 【一般会計補正予算】

国の地方創生臨時交付金を活用して、経営強化、燃油価格高騰対策として支援する。

- ・ 農業経営者強化事業 535万円
- ・ 林業事業者強化事業 100万円
- ・ 漁業経営者強化事業 670万円
- ・ 貨物自動車運送事業者支援事業 579万円
- ・ 土木建築事業者支援事業 750万円
- ・ 消費活性化対策(全町民へ5千円のクーポン券を配布) 3411万円